広報ぬまた 1月号

2011.12.27 No.555

沼田小学校辰年生まれの子供たち　教頭先生も辰年です

2　新年あいさつ
5　今年は辰年です
6　まちのニュース
14　平成 22 年度決算報告
16　平成 23 年度上半期収支状況報告
18　グラフで見る！沼田町財政推移
20　沼田町職員の給与及び職員数について
24　消報・沼田警察署より
26　生涯学習ゆめっくる
28　ふれあいインフォメーション
30　後期高齢者医療制度

謹賀新年

本年も昨年同様、
よろしくお願いいたします。

沼田町長

金平嘉則

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

２０１２年の新しい出発を、どのようなお気持ちで迎えることができたでしょうか。皆様方一人ひとりの幸せに満ちた笑顔が多くの方々の笑顔につながり、沼田町内に幸せが広がる年初めをお過ごしのことと想像しております。

私も昨年の統一地方選挙におきまして町民各位の皆様の暖かいご支援とご理解そしてご期待を受けて、町政に携わる機会を与えていただきましたことに心より感謝とお礼を申し上げます。

五月に沼田町長に就任し始めての新年を迎えましたが、この間、若輩で経験も未熟な町長であるにも関わらず、職責を果たしてくることができた背景には、町民の皆様の「声と力」に支えられてきたということに尽きると痛感しております。

就任以来、私自身も多くの声を聴くために町民の皆様の所に出向き意見をお聞きする機会を増やすとともに、町内関係団体との意見交換を実施してまいりました。

お聞きした意見等につきましては、今後の町づくりに役立ていきたいと考えております。

今日、我が国は、本格的な人口減少や高齢化社会を迎え年金・医療・社会保障制度の抜本的な見直しが急務となっております。

加えて、昨年の三月十一日発生した東日本大震災と福島原子力発電所の事故により、被災地のみならず、日本全国に甚大な影響を与え、新たに解決が迫られる課題が山積みとなっているにもかかわらず、第百七十九臨時国会は重要法案を先送りして十二月九日に閉会するなど、政治の混迷により国の行く末が極めて不透明なものとなり、国民の不安が増すばかりとなっております。

さて、本町の基幹産業であります農業においては、昨年は、六月中旬の低温・寡照、また、七月初旬の高温の影響等が心配されましたが質・量とも平成二十年の大豊作に次ぐものとなり、米価においても安全安心意識の高まりから上昇し、農業所得の向上が図られたところでありますが、政府が環太平洋連携協定（ＴＰＰ）の交渉参加を表明するなど農業を取り巻く環境は一層厳しさを増しております。

商工業においても、過疎化に加え、多様化する消費者ニーズ、近隣の大型店への消費の流失等から非常に厳しい経営環境にありますが、活力ある地域経済社会の形成に向け農業と商業が連携しての取組の推進に努めてまいります。

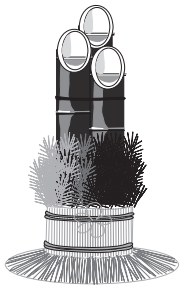
震災の復旧・復興のための財源確保のため交付税等の減少が見込まれ、厳しい財政状況の中ではありますが、沼田小学校の建替に着手、未来の沼田町を担う子どもたちの教育環境の向上を目指しているところです。

また、新しい時代を展望し、持続可能な地域モデルを作る道筋を示す、向こう八年間の計画期間とする「沼田町第五次総合計画」が昨年よりスタートいたしました。

私たち行政も皆様の現場の声を聴き、一緒に汗を流して取り組む覚悟を持っておりますので、町民の皆様も何でも沼田町でやってくれるではなく、「自分たちでできることは自分たちで」や「地域で出来ることは地域で」と協動のまちづくりを目指していければと思っています。

本年は町民の皆様の「生活満足度向上」のために町政を進めていくとともに、町民の皆様がこれまで以上に、沼田町や自分たちの地域のことにもっと関心をお持ちいただき、みんなで頑張りたいと思っていただける、きらり輝く沼田町に向けてさらに前に進んでいきたいと思っていますので、なお一層のご支援とご協力をお願いいたします。

今年が皆様にとりまして、温もりのある幸せを感じられるそして、明るく幸せな年となることを心からお祈りを申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



沼田町議会議長
杉本　邦雄

平成二十四年の新春を御家族の皆さんご健勝でお迎えのことと心よりお慶び申し挙げます。

昨年の日本では三・一一と云われる東日本大震災が発生、地震・津波・原発事故等、震災に遭った多くの人たちの苦悩は量り知れない悩みを抱えています。

国の第三次に渡る震災対策補正予算等が早く執行され、震災から早く復興されることを願っています。

基幹産業の農業は、春からの異常気象がたたり畑作全般は恵まれませんでしたが、水稲は二年連続の不作から脱して質・量・価格が回復し豊作を迎えられたことは喜ばしく、地域経済に良い影響を及ぼすことを願っています。

議会としては統一地方選で議員としての公約を忘れず心新たに、議員全員野球で町民の期待に沿えるように努力してまいります。特に地方主権（分権）時代に対応できる政策チェック機能・政策提言機能・財政監視機能等々を磨き、町民への情報公開・議会報告会等、議会改革を進め町民と町政の架け橋として努力してまいります。

今年度は震災対策として財源確保の為に、過年度の不要額が震災にまわされた影響から交付税額が1兆円以上減るとされていて、町交付税が億単位で減額、更に一部増税等、行政サービスや生活にも影響が出る環境にありますが、国や道への要請・意見書の提出等、課題の軽重に応じ調査・審議を深め、特に地方産業や経済に大きな影響を与えるTPP問題・地方財政確保の為の交付税問題等、議会上部組織を通じて積極的に取り組んでまいります。

又建設中の小学校も、グラウンドを残し十二月に完成しますが、一方地域医療の将来方向を決めなければならない重要な年ともなります。農業や商業の振興・教育や福祉の充実など町への提案能力を高め、議員一致団結して努力してまいりますので、今年もご指導宜しくお願いします。

沼田町教育委員会
教育委員長
日暮　茂男

新年明けましておめでとうございます。皆様には、新しい年を迎え心新たに歩み始められたことと拝察いたします。

平成二十四年度の沼田町の学校教育は大きな節目を迎えることとなります。それは、沼田小学校の新校舎の完成です。只今建設中のこの校舎は、未来の地球規模の課題を志向し、地域の特性を生かしたものとなります。この地に育った子供たちが、将来いかなる地で生きようと「町民の願いであふれる学び舎」で学んだことを誇りに、それぞれの道で語り伝えられることと思います。と同時にこれを機会に、小学校教育を本町の学校教育の中核として「知・徳・体」の調和のとれた教育内容の習得とその指導者である先生と願いを一にする父母の協働がより一層求められます。これを進めるためには、幼稚園教育が大切であります。今も、一年間という短期間の中で小学校の準備教育として「躾、学び方、遊び方、仲間作り」等を身につけさせるべく、先生方・PTAの熱烈なご支援のもとその成果を挙げておられます。

また、沼田中学校は旧沼田高校の校舎に移転し二年目になります。今、この恵まれた教育環境を存分に生かし、自らの進路を自らが自信を持って選べる「確かな学力」の定着と社会でキラリと光り輝き、たくましく生き抜く力を身につけさせるべく厳しくもやさしさのある先生方の指導と子の願いを信じ協同する父母の姿が求められます。そのためにも、学習の芽生えの幼稚園教育から調和の取れた全人格教育の小学校教育へ、そして人生の選択の中学校教育へとそれぞれの段階の教育が綿密に連携していくことが求められています。このことを踏まえて、新しい器の中に子供たちの「希望にあふれた笑顔、喜びに満ちた笑顔」があり、父母や地域の求める教育が満たされる環境作りを進めなければと考えます。

町民の皆様には、未来ある沼田の子供たちを育てるために、子供一人一人に寄り添い熱い眼差しを注いで頂きたいと願うものであります。

沼田消防団長
渡邊　健三

輝かしい新年を迎え、町民の皆様に謹んでお慶び申し上げます。

昨年は町民の皆様の防火意識の高揚により無火災を達成出来ましたことは大変喜ばしく感謝とお礼を申し上げます。

日本におきましては、東日本大震災により多数の犠牲者が発生し、東北各地に多大な被害をもたらしました。また、津波により福島原子力発電所などを破損し放射能による被害の拡大など、二次災害も起こり、被災地の皆様におかれましては、長い避難所暮らしなど二重三重の苦労があったと思います。このことにつきましては、一日も早い、復旧、復興を願う次第であります。

また、昨年六月より、一般家庭に住宅用火災警報器が設置義務化になり沼田町においては、町民の火災予防の高さにより、九十％以上の住宅に設置がされたことに改めて御礼を申し上げるところです。

今後は、悲惨な災害を未然に防止し、町民ひとりひとりが安心して暮らせる住みよい町づくりを目指し、地域住民の安全と郷土防災繁栄のため消防職団員が一致団結し全力で努力する所存であります。

終わりに、平成二十四年が町民皆様にとって良い年でありますよう、ご祈念申し上げまして新年のご挨拶と致します。

沼田警察署長
天野 正輝

平成二十四年の輝かしい新春をご家族お揃いで健やかに迎えられたことと心からお慶び申し上げます。

沼田町の皆様には日頃から交通安全、暴力追放、青少年の健全育成のほか、犯罪の予防のための諸活動に対して多くの方々にご参加をいただき、心温まる励ましやご支援、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年は、東日本大震災や福島原発事故など未曾有の事態により国内が混乱した一年でもありましたが、一日も早い復旧復興が望まれるところであります。

さて、当署管内における昨年の事案情勢は、重大な事件・事故の発生もなく、刑法犯の認知件数も昨年に引き続き減少し、また、交通事故情勢につきましても、人身交通事故が大幅に減少するとともに、役場をはじめ関係機関・団体や町民の皆様との連携、協働による交通死亡事故ゼロ四千五百日の達成や高齢者参加の交通安全川柳コンクールの開催など交通安全の気運をさらに高め、町民総意の五千日達成を目指して記録更新を継続しているところです。

しかし、旭川方面管内では残念ながら交通事故死亡者数が前年を大きく上回り、また、振り込め詐欺被害が再び増加するなど警察を取り巻く諸事情は楽観を許さない状況にあります。

この様な情勢を踏まえ、道警察の基本理念であります「犯罪や事故のない安心して暮らせる北海道の現実」に向け、今年も署員一丸となって管内の治安維持に全力投球する所存です。

本年も警察活動に対するご理解、ご協力を賜りますようお願い致します。

むすびに、皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、年頭のご挨拶と致します

沼田弾薬支処長兼沼田分屯地司令
犬塚 智朗

沼田町の皆様、新年明けましておめでとうございます。新しい年を迎え、私達はこの平穏な生活が営めることの有り難さ、人と人の絆の大切さを改めて感じるところです。

昨年は、三月十一日に東日本大震災が発生し、自衛隊として十万人以上の隊員が対処に当たり、北部方面隊からも岩手、宮城及び福島の主要な被災地に部隊が派遣されました。北海道補給処はこれら部隊活動を支援するための態勢をとり、我が沼田弾薬支処・分屯地からも延べ十五名の隊員がそれぞれ約一ヶ月間ごとに岩手駐屯地等或いは直接被災地において部隊活動に必要な糧食・燃料及び資材の兵站支援等を実施しました。我々の活動は八月初旬に平素の態勢に収束しましたが、今なお継続する福島の原子力発電所災害を始め、被災地の一日も早い復興を心より願っています。

さて、今年は、既に北部方面隊からの南スーダンへの国際平和協力活動とハイチミッションの継続派遣が決定されており、北海道補給処は国内における各種事態対処に加え、国際平和協力派遣部隊に対する支援準備に着手するなど、様々な任務を遂行する年となりました。

沼田弾薬支処・分屯地としてもそれら北海道補給処の任務の一端を担う組織として、与えられた任務を確実に実施することが求められています。このためには、隊員相互と家族との絆、そして沼田町の皆様との絆が必要であり、より一層大切にしたいと思います。

沼田町の皆様の益々のご健勝を祈念いたしますとともに、今年も沼田弾薬支処・分屯地に対する暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

今年は「辰年」です

沼田町に住んでいる辰年の人は、全世代合わせて 312 名です。世代を越えても同じ干支の人と知り合えるとうれしいですよね。今回の広報の表紙は、元気な辰年の小学生です。未来ある子供たちのために沼田町がどんどん活性化すると良いですね。

昭和 15 年生まれ　市内 1 東町内　中山貞好さん

新年あけましておめでとうございます。
健康な体が一番と思い日々感謝の気持ちを持ちながら過ごしております。
新しい年を迎え、家族ともども、よりいっそう健康な体を維持していきたいと思っており、健康づくりのためのゴルフも今年は昨年以上の 25 回以上を目標にがんばります。
沼田町にお住まいの方々も共に健康でがんばりましょう。

昭和 39 年生まれ　沼田小学校 教頭　壽崎正人さん

日々、仕事に追われているせいか、「はっ！」と気がつくと人生何度目かの辰年を迎えていました。
現在、小学校校舎の改築工事が平成 24 年 12 月の完成を目指して進行しています。
子どもは地域の宝です。未来の沼田を担う子ども達にとって大切な学び舎の環境整備が着々と進んでいます。（地域の方々の御理解とご協力を、よろしくお願いいたします。）
今回の私にとっての辰年は、少し忙しくなるかもしれませんが、いつもの年と特に変わることもなく、（変に気負うと良い結果がでない場合が多いので）健康に気をつけて、日々の暮らしが充実するよう努力していきます。
そして、私たちにとって、良い年が続くことを心から祈っています。

昭和 51 年生まれ　商工会青年部　墓田正則さん

新年あけましておめでとうございます。
今年、私にとって３度目の辰年を迎え、月日の流れの早さを感じています。
昨年は、沼田商工青年会議所 60 周年・沼田町商工会青年部 45 周年記念式典・祝賀会を多く皆様の多大な御協力により、無事終えることができました。
今年は、商工会青年部、ゆきものがかりの一員として、雪フェス、いこいの広場、夜高あんどん、雪夏祭、年越しイベント等で、沼田町を町内外にアピールし、盛り上げていけるよう、微力ながら活動していきたいと思います。
また、２年連続で怪我をしているので、今年こそは怪我ない１年にしたいです。
新年の始まりに、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

和風園の

沼田町の辰年生まれ

合計 312 名

大正	5 年生まれ	１０名
昭和	3 年生まれ	３９名
昭和	15 年生まれ	６１名
昭和	27 年生まれ	５８名
昭和	39 年生まれ	５１名
昭和	51 年生まれ	３８名
昭和	63 年生まれ	３３名
平成	12 年生まれ	２２名

沼田町食生活改善協議会
楽しく！おいしく！高齢者お食事会

食生活をとおした健康づくりについて学習し、健康的な食事を地域に普及させようと自主的に活動ている沼田町食生活改善協議会（池内幸枝会長）が、10 月 24 日（月）に健康福祉総合センターで、一人で暮らしている 70 歳以上の高齢者を対象に、お食事会を開催しました。今年は 32 名が出席し、栄養バランスのとれた食事を楽しみ、大正琴サークルによる演奏やゲームで交流しました。

寒い季節も子どもは元気！
第 34 回沼田幼稚園発表会

11 月 13 日（日）、町立沼田幼稚園（本庄修園長）が町民会館において第 34 回目となる発表会を開催しました。

男の子 12 名、女の子 12 名の計 24 名の園児たちは、今まで練習してきたお遊戯や劇を一生懸命に披露。音楽に合わせて精一杯踊ったり歌を歌っていました。

会場に駆け付けた保護者たちも自分の子供の勇姿を逃すまいとビデオカメラやデジカメ片手に自分の子どもを応援。子どもたちに負けじと、保護者も劇や踊りを披露する場面もありました。

本庄園長は挨拶で「幼稚園生活の半分を終えた園児は一段とたくましく成長しました。劇に遊戯に歌に縄跳び、一人で何役もこなしながら練習に励んだ園児に惜しみない応援を」と、保護者に向けて話していました。

軽快な噺で客席を魅了！
第 7 回ほたる寄席「橘家富蔵独演会」

ほろしん温泉ほたる館（唯木勉支配人）で毎年恒例の行事となっている「ほたる寄席」が、11 月 13 日（日）に館内クリスタルホールで行われました。

唯木支配人の「最近暗い話題が多いので、この寄席を見て笑い、少しでも明るくなってもらえれば」との挨拶から寄席はスタート。寄席に登場した橘家富蔵さんは、小話や謎かけで会場の空気をあっという間に自分の色にし、演目「茶の湯」や「五人廻し」を披露。橘家富蔵さんの軽快な噺に、会場に駆け付けた沼田町の落語ファンは終始笑いっぱなしでした。

また、旭川を中心に活動している旭笑亭幻太さんも一席披露。立川志の輔作の「買い物ブギ」を披露し、笑いの絶えない寄席となりました。

WiFi で快適♪
ほたる館で無線LAN使えます

沼田町五ケ山の工業団地を購入し平成 24 年５月に実験施設の開業を目指す東京千代田区の㈱ハイテクインター（旦尾紀人社長）の好意により、ほたる館でパソコンなどを無線で使用することのできる無線ＬＡＮ（ＷｉＦｉ）の設置工事が行われました。設備は、源氏の宿の１階ロビーなど計３カ所に設置され、それぞれ一度に 128 回線まで使用することができます。

このことにより、ノートパソコンなどを持ち込んでインターネットを楽しむことができるほか、スマートフォンで撮影した写真など大容量のファイルを送信することができます。

旦尾社長は「この設備があると今まで以上にお客さんを呼び込むことができる。ノートパソコンを持ち込んで企業の研修なども開催することができる」と今後のアイデアを熱心に話されていました。

今後は、インターネット環境が無かったため、近隣に宿泊していたお客さんをほたる館に呼び込むことに期待が持てます。

まちのニュース Numatatown News

新鮮なネタに大賑わい！

ほろしん温泉寿司フェア

昨年度も行い大盛況だったほろしん温泉ほたる館（唯木勉支配人）の寿司フェアが、11 月 18 日（金）に開催されました。

会場にはマグロやアワビなどの新鮮な食材が多数並び、訪れた 65 名ほどの人たちは長蛇の列を作り、自分の好きなネタを板前にリクエストし、握りたての寿司を食べてはまた列に並ぶというサイクルを繰り返していました。

食べ放題ということもあり、来場客はお腹一杯になるまで新鮮なお寿司を食べ、満足そうな表情で寿司フェアを満喫していました。

幌新ダム改修工事業者がボランティア

旭川市の東邦電設㈱が中学校電気設備の掃除

旭川市に本社を置く東邦電設㈱（武田政則代表取締役）が、11 月 19 日（土）に沼田中学校（長野時敏校長）の教室の電気設備の掃除をするボランティア活動を行いました。

東邦電設㈱は、札幌開発建設部からの発注で、幌新ダムの取水塔の改修工事を請け負っている会社。地域に貢献した活動を行いたいということで、今回の中学校の電気清掃ボランティアを行うに至りました。

掃除を行ったのは、普段生徒が使っている一般教室や多目的室などの特別教室。蛍光灯を外して丁寧に拭き、どの部分も綺麗に磨かれていました。

掃除を行った担当の作業員は「今回の掃除で、教室が前よりも少し明るくなったと思う。生徒の皆さんに喜んで貰えれば」と語り、清掃に立ち会った柏崎教頭も「非常にありがたいです」と笑みを浮かべていました。

今年も大盛況！

ぬまた女性フェスタ 2011

11 月 20 日（日）ゆめっくるで実行委員会（岡田久恵実行委員長）主催の「ぬまた女性フェスタ 2011」が、開催されました。このイベントは、町内の女性グループなど約 140 名で組織されている実行委員会が運営し今回で 9 回目を迎えました。

開場に先立ち開会式で岡田実行委員長は「このイベントを通しいろいろな人と知り合ってほしい」と挨拶。会場には、午前 10 時の開場前からお客さんが入場する賑わいで、様々な団体や個人が、芸能発表や展示などを行いました。メインイベントのひとつである 100 円カレーコーナーには長蛇の列が並び会場に訪れた人たちが、甘口中辛の 2 種類のカレーを会話を楽しみながら食べていました。

自分の体とうまく付き合っていこう！

沼田長生老人クラブ健康教室

11 月 21 日（月）、沼田長生クラブ（野道夫会長）が主催で「健康教室」を開催しました。

当日は吹雪という生憎の天候ではありましたが、会場となったゆめっくるには 120 名以上の方が出席。

今回の健康教室には深川市立病院診療技術部リハビリテーション課の理学療法士である原田裕子先生が招かれ、「膝と腰の痛みに上手に付き合おう !!」と題し、関節痛や腰痛の原因などを丁寧に説明しながら、痛みを予防するためのストレッチを交えて講演。

参加者も先生の動きを真似しながら実際に運動を行うなど、健康教室は賑やかに進んでいきました。

2050年の沼田町はどうなっている？
北海道低炭素未来ビジョン地域ワークショップ

地球温暖化など環境の変化に対する関心が深まっています。北海道も、二酸化炭素の排出が少ない「低炭素社会」の実現に向け、「北海道低炭素未来ビジョン」の策定を計画しています。その一環として、様々な方から意見を聞こうと、「北海道低炭素未来ビジョン地域ワークショップ」を全道6ケ所で開催し、道央地区会場として11月22日（火）に沼田町生涯学習総合センターで開催されました。

会場には20名ほどの人が集まり、「2050年になったときのまちの未来」や「2050年に低酸素社会が実現した時のまちの暮らし」についてグループディスカッションを行いました。

全体の発表では、沼田町の雪の取り組みを発展させた発表や、独特でユニークな発表など様々な意見が飛び出し、道の担当者も「今後の計画に向けての参考にする」と話していました。

平成23年度第46回共成保育園お遊戯会・卒園式

11月26日（土）、共成保育園（渡辺敏昭園長）において第46回目となるお遊戯会と卒園式が開催されました。

先に行われたお遊戯会では、全園児14名が一丸となってお遊戯や楽器の演奏、歌と劇を披露。集まった保護者を目の前にして、園児は練習の成果を精一杯に演じていました。

卒園式では、渡辺園長から園児一人一人に保育証書が手渡され、記念品なども贈られていました。渡辺園長は挨拶で「共成保育園は、私が小学生の時からある由緒あるものだと思う。今後も地域で園を盛り上げてもらえれば」と述べていました。

町民135名が参加
第27回町民ミニバレーボール大会

11月27日（日）沼田町民体育館で沼田町体育協会（高田勲会長）主催の第27回町民ミニバレーボール大会が町民135名参加のもと開催されました。

冒頭で高田会長が「歴史ある大会です。けがの無いようがんばってください。」と挨拶し選手宣誓のあと3つの部に分かれてプレーを開始しました。

日頃から練習を積み重ねている選手から普段あまり運動をしていない方まで、アタックやブロックなどハッスルプレーでコートは大盛り上がりでした。

ほろしん温泉に行って健康を維持
高齢者健康教室が開催されました

11月28日（月）ほろしん温泉ほたる館で沼田町主催の高齢者健康教室が、深川市立病院の原田裕子理学療法士を講師に迎え55名が参加し開催されました。

膝や腰の痛みなどについて、手振り身振りを交えながらわかりやすい説明を受け、実際に椅子に座ったままでできる体操などを習い、参加者からは「これなら自宅でもできる。」と満足気な声が聞かれました。

まちのニュース Numatatown News

今シーズンもよろしくお願いします！

道路除排雪作業に伴う交通安全大会

沼田町の道路除排雪作業に従事する人の交通安全大会が、町主催で12月１日（木）役場で開催されました。

これは、例年、冬の交通作業事故防止のため開催されているもので約30名の参加で行われました。

沼田警察署の沓澤竜也地域交通係長から管内の事例を交えながら交通安全の講演があり、最後に運転員を代表して北央道路工業（株）の下口隆幸さんから「冬期間の生活交通路線の確保に全力を尽くし交通事故の撲滅に向け努力していく」と力強く交通安全の誓いを読み上げ締めくくりました。

農業後継者に指導農業士が講義

第2回沼田農業元気塾研修会

沼田の農業を担う８名が塾生となって今年の９月５日に開校式が行われた「沼田農業元気塾」の研修会が、12月２日（金）に役場内の会議室で行われました。

今回の研修会は「分からないことを聞き合える仲間づくり」「一度は聞いてみたかった農業の基礎知識の習得」「新たな作物や技術に関する知識の習得」「今後の営農への活用（自信とやる気の工場）」を目的に開かれ、町内で指導農業士として活躍する３名を招いて講義が行われました。

塾生以外にも、農協職員や普及センターの職員も参加。研修会に参加した方々は、講師の一言一言に集中して耳を傾け、塾生からも「独自産業をしたことによる加工後の利幅は？」など、活発な意見交換が行われていました。

平成２３年度沼田町ＰＴＡ連合会研究大会

河合正治さん講演会

沼田町ＰＴＡ連合会（馬狩良光会長）主催の子育て講演会が、12月３日（土）生涯学習総合センターゆめっくるで開催されました。

講演は、オリンピック水泳で北島康介選手の金メダル獲得に大きく貢献したスポーツアナリストの河合正治氏が行い「自身が分析したデータを北島選手がすぐに実践したこと。」「スポーツ選手の中でも北島選手はすごく良い性格できっちりと挨拶をする。」など、近くにいなければわからない非常にわかりやすいお話をしていました。

会場では約50名のＰＴＡの方々が、自身の子育てを考えながら興味深く話を聞いていました。

雪中米につづけ！台湾へ沼田町産品を輸出

道央空知地域食料品関連産業海外販路開拓事業

沼田町商工会が、経済産業省の支援を受けて台湾へ地域産品を輸出する「道央空知地域食料品関連産業海外販路開拓事業」の全体会議が、12月３日（土）観光情報プラザで開催されました。

会議には町内の商店やＪＡ及び商工会の女性部、深川市の企業合わせて約20名が参加し今後の予定などについて話合われました。

現地には、平成24年２月18日19日に町内外合わせて20名ほどが乗り込み、台中市内で今後の取引について現地バイヤーと商談をするほか、雪中米の取引のある現地スーパー裕毛屋で雪中米で作った料理などの試食を提供する予定です。

台湾への雪中米の輸出は、平成17年から始まっており商工会では、この事業をきっかけに「雪なごり」などを含め多くの商品を輸出したいと考えています。

本のおまつり
図書館フェスティバル2011開催

町教育委員会主催の第６回目となる図書館フェスティバルが、12 月３日（土）生涯学習総合センターゆめっくるで開催されました。図書館ボランティア 13 名のスタッフなどにより人形劇やクイズラリーなどの催しなどもあり子供連れからお年寄りまでゆったりとした時間を過ごしました。また、古本リサイクル市では、町民などから寄せられた書籍約 2,000 冊が並べられ、訪れた町民が気に入った本を手に取り持ち帰っていました。なお、古本リサイクル市は、12 月 29 日（木）まで開催します。

練習よりも上手にできました！
第 58 回沼田保育園お遊戯会

12 月４日（日）沼田保育園（土肥芳子園長）で第 58 回目となるお遊戯会が開催されました。

湿った雪が降る生憎の天気ではありましたが、会場にはカメラ片手に多くの保護者が集まりました。

冒頭の挨拶で土肥園長は「子どもたちはお遊戯の練習をひと月前から練習を始め、一歩一歩成果を積み重ねてきました。練習の成果を一生懸命出し切った子供たちが見られて、大きな感動を与えてくれると思います」と話しました。

園児たちは歌やお遊戯、和太鼓などを元気よく精一杯に披露。園長の言葉通り練習の成果を精一杯に出し切り、会場に集まった保護者からは大きな拍手が上がっていました。

空知総合振興局主催
「ラウンドテーブルミーティング」を開催

空知総合振興局主催で気さくに意見交換しあえる場として「ラウンドテーブルミーティング」が、12 月５日（月）ほろしん温泉ほたる館で開催されました。

空知総合振興局から武田裕二局長と池田和明地域政策課長が訪れ、金平町長ほか７名と「雪氷冷熱エネルギーの活用や食料備蓄基地への可能性」「沼田町の将来」などについて活発な意見交換を行いました。

いよいよ募集開始！
明日萌の里・ほたるの里歩くスキーの集い

冬の恒例行事「明日萌の里･ほたるの里歩くスキーの集い」の第１回実行委員会（吉住淳男実行委員長）が､12 月６日（火）に開催されました。

昨年度は、東日本大震災の影響により中止となりましたが、例年全道から 300 名以上の参加者が集まるこの大会は、シーズンの終わりの集いとして人気があり、また、コースの整備状態の良さも評判となっています。事務局は「例年以上の 400 名を超える参加者を集めるのが目標。」と今後のＰＲに鼻息荒く意気込みを語っていました。

参加者の募集は 12 月中旬から始まっており、大会は平成 24 年３月 25 日（日）で前日には歓迎会も企画されています。

まちのニュース Numatatown News

音楽に合わせて元気に体操！

キッズクラブ親子エアロビ

親子ふれあい事業として、毎月開催しているキッズクラブが 12 月 7 日（水）に親子エアロビを行いました。
会場には 9 組の親子が集まり、自己紹介を済ませた後、親子エアロビをスタート。講師として旭川で活躍するパーソナルトレーナーの山田道代さんが招かれ、子どもたちは先生の動きに合わせて見よう見真似で体を動かし、お母さんと一緒に楽しそうに体操をしていました。
エアロビの他にもかけっこやマット運動、ボール遊びなどをし、会場には終始子どもたちの元気な声が響いていました。

ロンドンパラリンピックも目指します

義足のスポーツ選手田中哲也さんが道徳の授業

マルチアスリートでフリーで活躍している札幌市在住の田中哲也さん（40）が、12 月 7 日（水）沼田小学校で 5、6 年生を対象に道徳の授業を行いました。
田中さんは、19 歳の時オートバイの事故により右足切断という大きなハンディキャップを背負うことになり、そうした中、リハビリ中にお兄さんが紹介してくれたスキー競技に出会ったそうです。その後競技にのめり込み、長野とソルトレークのパラリンピックで上位入賞を果たすなど輝かしい成績を残しました。
現在は、自転車競技でロンドンのパラリンピック出場を目指しており 2 月には、アメリカでの練習に参加する予定です。
今回の授業では「道具とルールを変えることにより障がい者も様々なスポーツにチャレンジできる」などと実際に競技で使用する機材を手に取りながら子供達に説明していました。

沼田町利雪研究会

雪冷熱エネルギーの活用を再度認識

沼田町で雪を利活用している方々が集まり情報交換をする利雪研究会の会議が、12 月 7 日（水）ゆめっくるで開催されました。会議の冒頭宮越貞幸会長から「この研究会で次の世代に伝えていく行動計画を作っていきたい。」と挨拶しました。
会議ではこの研究会の顧問である室蘭工業大学の媚山政良準教授から「利雪最前線 2011 年初冬」と題し雪冷熱エネルギーに関する講演をいただきました。

沼田長生クラブ忘年会

歌って笑顔満開「ひまわり姉妹ショー」

沼田長生クラブ（野道夫会長）の忘年会が、12 月 9 日（金）ほろしん温泉ほたる館で 103 名の参加で盛大に開催されました。野会長から沼田長生クラブが、本年 50 周年を迎えたおめでたい年であった報告と「お互い協力しあってボランティア活動などに協力してがんばっていこう」と来年に向けての意気込みも語っていました。
宴会では、空知を中心に札幌や全道各地で活躍している「ひまわり姉妹」のステージが繰り広げられ、会場内は終始にぎやかな様子でした。

サンタクロースの登場に大興奮！

沼田幼稚園クリスマス会

12 月に入り街もクリスマスムードに包まれる中、沼田幼稚園（本庄修園長）では少し早めのクリスマス会が開催されました。

園児とその保護者や弟、妹などが会場には集まり、デコレーションケーキ作りや、プレゼント運びゲームなどの余興などが行われました。また、この日のために練習を重ねたクラス別の出し物が披露され、保護者たちはかわいい子どもたちの姿にうっとりとしていました。

クラス出し物が終わった直後、外から突然サンタクロースが登場。サンタクロースから「みんなちゃんとお母さんやお父さん、先生たちの言う事聞いてよい子にしているかい？」と聞かれると、子どもたちは元気に「はい！」と返事。サンタクロースが「みんな良い子にしているみたいだからプレゼントをあげるね」と言われると子どもたちは大興奮！一人ひとりにプレゼントが手渡され、子どもたちにとっても思い出深い一日になりました。

好プレー続出！

沼田町教育長杯争奪小学生バレーボール大会

北空知管内の小学生チームが競い合う、平成 23 年度沼田町教育長杯争奪小学生バレーボール大会が、12 月 11 日（日）沼田町民体育館で開催されました。

沼田リトルポプラ主将の上村寧々さんが、参加８チームを代表して力強い選手宣誓を行い競技を開始、選手たちは日頃の練習の成果を思う存分発揮しプレーしていました。

各チームの応援団も大きな声援を送り、沼田リトルポプラの応援団もピンクのメガホンを持ち「ねばって！拾って！」と力のこもった声援で選手を応援しました。

来年もまたみんなで開講式を！

平成 23 年度 いきいき大学閉講式

12 月 12 日（月）沼田町いきいき大学（生沼篤司学長）の閉講式がほろしん温泉ほたる館で執り行われました。

閉講式に先立ち行われた「いきいき講演会」では、旭川市でマジック教室を行っている西垣良克氏が講演。様々な道具を駆使したマジックや、誰でも簡単に行えるマジックを大学生たちに教えるなどし、会場を大いに沸かせました。

6 月に開講式を行ったいきいき大学も、今回の閉講式を含めて全 7 回の開催。生沼学長は「今年のいきいき大学は、延べ約 650 名の方が参加してくれた。多くの方の参加に感謝している」と挨拶。全 7 回に参加した 11 名の方に皆勤賞と記念品が贈呈され、7 回中 5 回に参加された 53 名には修了証書が手渡されました。

最後に大学生を代表して鷲尾金一さんが「6 月から始まったいきいき大学も、こうしていきいきとした姿で閉講式を迎えられた。また来年もいきいきとした姿で開講式を迎えたい」と、決意を胸に挨拶。平成 23 年度のいきいき大学は幕を閉じました。

まちのニュースは、
沼田町ホームページでいち早くご覧になることができます。
TOPページの中段をクリックしてください。

表彰

永年勤続など十七名表彰
商工会優良従業員表彰

沼田町商工会主催の優良従業員表彰式が、十一月二十三日（祝・水）に開催され、七事業所計十七名が表彰を受けました。

表彰式の冒頭の挨拶で吉住淳男会長は「町内の事業所から徐々に従業員が減ってきている。商工会役員一同、働く皆様の環境を良くしていきたい。」と話し、今回表彰を受けた方々と交流を深めました。

今回表彰を受けた方々は次のとおりです。

被表彰者名簿

●商工会表彰

・五年以上

杉本政人（教和建設㈱）
徳光千尋（㈱沼田開発公社）
坪田邦子（㈱沼田開発公社）

・十年以上

菅野　瞳（㈲渡辺デンキ）
岩渕昭浩（㈲渡辺デンキ）
奈須川剛（㈲渡辺デンキ）
坂上　博（㈶沼田交通教育協会）
平井しのぶ（㈱小泉商店）

・十五年以上

徳永広雪（㈱沼田開発公社）
柴田教裕（㈱沼田開発公社）

・二十年以上

川村孝幸（北空知輸送㈱）
丸岡由紀美（教和建設㈱）

・二十五年以上

阿部健一（渡部建設㈱）
浜田茂雄（北空知輸送㈱）
竹田輝利（北空知輸送㈱）
吉田ヒロ子（北空知輸送㈱）

・三十年以上

村井尚久（㈶沼田交通教育協会）

●沼田町長表彰

村井尚久（㈶沼田交通教育協会）

沼田厚生病院の金谷健一院長
ダブル受賞

沼田厚生病院の金谷健一院長が、このほど開催されたそれぞれの式場で「北海道社会貢献賞（地域医療功労者）」と「北海道国民健康保険団体連合会表彰」をダブル受賞しました。

金谷院長は、昭和六十年十月から二十六年間にわたり沼田厚生病院に勤務し沼田町民及び近隣町民の医療に対する安心安全のため医療サービスの充実に尽力しており、また昭和六十三年三月一日から国民健康保険運営委員を務めており国民健康保険の運営に携わって保健事業などについても非常に大きな役割を担っていることからこの度のダブル受賞となりました。

寄付

ありがとうございました

幌比里行政区の三岩俊郎さんから札幌市西区に転出するにあたり、ふるさとづくり基金に十万円の寄付がありました。

市内五の石崎豪章さんから深川市に転出するにあたり、ふるさとづくり基金に百万円の寄付がありました。

まちの家計簿お知らせします！

総額約 67 億 5,066 万円

歳出 49 億 8,857 万円

町民一人あたり 138 万 728 円

総務費　8 億 261 万円（16.1%）
町の内部管理、税務、戸籍、選挙、統計などに要する経費

民生費　4 億 3,911 万円（8.8%）
福祉事業、保育園運営費などに要する経費

衛生費　3 億 5,386 万円（7.1%）
健康づくり、ごみ、し尿などに要する経費

農林水産業費　4 億 4,857 万円（9.0%）
農林業の振興などに要する経費

商工費　9,384 万円（1.9%）
商工業・観光の振興などに要する経費

土木費　3 億 3,602 万円（6.7%）
道路整備・維持、町営住宅管理などに要する経費

教育費　3 億 770 万円（6.2%）
小中学校、幼稚園、社会教育、社会体育などに要する経費

公債費　9 億 304 万円（18.1%）
町の借入金の返済に要する経費

諸支出金　4 億 5,227 万円（9.1%）
基金の積立金などに要する経費

職員費　6 億 2,218 万円（12.5%）
職員に対して支給される給料と各種手当などに要する経費

その他　2 億 2,937 万円（4.6%）
議会費・消防費など

まちの家計簿といえる平成 22 年度決算を公表し、町民みなさんから納めていただいた税金や国、道からの補助金などがどのように使われているか紹介します。

年々、厳しくなる財政状況の中、節減に努め効率的な財政運営を行い財源確保に最大の努力を図っていきたいと思いますので、町の行政について、皆さんの一層のご理解とご協力をお願いします。

借入金の状況（一般会計分）

区分	平成 22 年度末現在高
農林水産	1 億 8,183 万円
土木	1 億 970 万円
公営住宅	8 億 3,416 万円
一般公共	1 億 4,436 万円
過疎対策事業	18 億 6,718 万円
一般会計出資債	6,542 万円
臨時財政対策債	7 億 7,037 万円
その他	1 億 1,591 万円
合計	40 億 8,893 万円

町有財産の状況（平成 22 年度決算現在高）

土地	5,425,931 ㎡	車輌	83 台
建物	109,253 ㎡	有価証券	508 万円
山林	3,554,824 ㎡	出資金等	4,214 万円
基金（一般会計分）			26 億 2,632 万円
・財政調整基金			3 億 9,642 万円
・減債基金			6 億 4,196 万円
・特定目的基金			15 億 8,197 万円
・定額運用基金			597 万円
備荒資金組合納付金			4 億 9,679 万円

◇備荒資金組合納付金とは…
災害による減収補てん・災害応急復旧事業費やその他災害に伴う費用にあてるために、道内の市町村が一部事務組合を設立し積立を行っているもので、使い道が災害関連等に限定される普通納付金と、使い道に制約の無い超過納付金に分けられています。

町税：町民一人あたり 8 万 5,557 円の負担

町税の負担状況　人口 3,613 人（平成 23 年 3 月末）

税区分	決算額	構成比	町民一人あたり
町民税	1 億 3,370 万円	43.3%	37,005 円
固定資産税	1 億 3,692 万円	44.3%	37,898 円
軽自動車税	757 万円	2.4%	2,095 円
たばこ税	1,833 万円	5.9%	5,073 円
入湯税	1,260 万円	4.1%	3,486 円
合計	3 億 912 万円	100%	85,557 円

町民の皆さんが町のために納められた税金です。

一般会計の決算額は歳入が 50 億 6,744 万円、歳出 49 億 8,857 万円で差し引き 7,887 万円（うち繰越明許費繰越額 946 万円、自己繰越繰越額 30 万円）の黒字決算となりました。

町民の皆さんが納めた町税は 3 億 912 万円で 1 人当り 8 万 5,557 万円負担したことになります。

これに対し、1 人当りに使われた費用は 138 万 728 円で、黒字決算とはいえ依然、自主財源に乏しくその大半を地方交付税や町債（町の借金）に頼る財源内容になっています。

特別会計

特定の事業に使われる経費を一般の歳入歳出と区分して経理する会計です。

会計別	歳入	歳出
養護老人ホーム	2 億 4,766 万円	2 億 3,251 万円
特別養護老人ホーム	3 億 5,499 万円	3 億 4,504 万円
国民健康保険	5 億 281 万円	4 億 9,239 万円
介護保険	3 億 2,037 万円	3 億 765 万円
老人保健	6 万円	6 万円
後期高齢者医療	4,622 万円	4,613 万円
公共下水道	3 億 3,931 万円	3 億 3,831 万円
合計	18 億 1,142 万円	17 億 6,209 万円

公営企業会計

地方公営企業とは、地方公共団体が地域住民の福祉増進を目的として経営する企業です。

会計名	区分		決算額
水道事業会計	収益的	収入	1 億 6,490 万円
		支出	1 億 7,752 万円
	資本的	収入	314 万円
		支出	4,275 万円

特別会計と公営企業会計は、税・使用料・負担金・国道支出金のほか一般会計からの繰入金等で運営がなされ、効率的運用に努めています。

歳入　50 億 6,744 万円

町民一人あたり 140 万 2,557 円

町税
3 億 912 万円（6.1%）
住民税・固定資産税など

使用料及び手数料
9,627 万円（1.9%）
公営住宅使用料・ごみ処理手数料など

財産収入
1 億 5,226 万円（3.0%）
農産加工品売払代金など

繰入金
1 億 7,778 万円（3.5%）
特定の事業に充てるために基金から繰り入れたお金

諸収入
1 億 7,541 万円（3.5%）
預金利子や雑入など

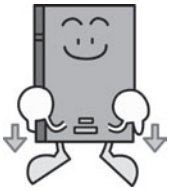
地方交付税
25 億 6,506 万円（50.6%）
町の財政力に応じて国から交付されるもの

国庫支出金
6 億 1,313 万円（9.0%）
各種事業に伴う国の補助金

道支出金
2 億 6,184 万円（5.2%）
各種事業に伴う道の補助金

町債
3 億 4,470 万円（6.8%）
建設工事など大きな事業の実施に伴う借入金

その他
3 億 7,187 万円（7.3%）
地方譲与税、寄付金など



平成23年度 上半期 支収状況

一般会計

平成23年度の上半期（４月～９月）の収支状況をお知らせいたします。
限られた財源の中で健全財政を堅持しつつ町民生活の向上を重点に、行財政の効率的な運営に努めています。この公表を通じ、町の財産がどのような状況にあるかをご覧いただき、住みよいまちづくりにこれからも一層のご理解とご協力をお願いします。

歳入

予算額 44億9,735万円
（22年度から繰越予算8,377万円含む）
収入済額 23億2,100万円
執行率 51.6%

	予算額	収入済額（執行率）
町税	3億 480万円	1億5,249万円（50.0%）
地方交付税	21億 871万円	16億4,626万円（78.1%）
使用料及び手数料	9,919万円	4,506万円（45.4%）
国庫支出金	3億6,107万円	1億1,794万円（32.7%）
道支出金	2億3,948万円	2,391万円（10.0%）
財産収入	1億5,495万円	5,250万円（33.9%）
繰入金	3億 806万円	6,200万円（20.1%）
諸収入	2億 505万円	2,173万円（10.6%）
町債	3億9,190万円	0円（0.0%）
その他	3億2,414万円	1億9,911万円（61.4%）

歳出

予算額 44億9,735万円
支出済額 16億6,037万円
執行率 36.9%

	予算額	支出済額（執行率）
総務費	4億 591万円	1億9,182万円（47.3%）
民生費	5億1,472万円	1億7,942万円（34.9%）
衛生費	3億8,626万円	7,159万円（18.5%）
農林水産業費	4億7,245万円	1億1,899万円（25.2%）
商工費	7,097万円	5,905万円（83.2%）
土木費	3億9,228万円	1億3,964万円（35.6%）
教育費	6億5,828万円	9,414万円（14.3%）
公債費	6億1,330万円	3億3,315万円（54.3%）
諸支出金	1億4,505万円	8,007万円（55.2%）
職員費	6億2,177万円	2億9,222万円（47.0%）
その他	2億1,636万円	1億 28万円（46.3%）

予算額　収入・支出済額　（）は執行率

町税の収入状況

税区分	予算額	調定額	収入済額	収入歩合
町民税	1億2,620万円	1億2,573万円	4,486万円	35.7%
固定資産税	1億4,515万円	1億4,834万円	8,259万円	55.7%
軽自動車税	756万円	765万円	755万円	98.8%
たばこ税	1,305万円	1,160万円	1,160万円	100.0%
入湯税	1,284万円	589万円	589万円	100.0%
合計	3億480万円	2億9,921万円	1億5,249万円	50.9%

※町税は一般会計に占める割合が大きい自主財源の一つです。
日頃から納期内納付にご協力ください。

町債の借入状況

事業名	借入予定額
過疎対策事業債	2億2,130万円
東予中央線凍雪害防止事業	1,610万円
沼田小学校改築事業	1億8,130万円
学童保育所整備事業	2,390万円
臨時財政対策費	1億4,100万円
一般公共事業債	2,960万円
合計	3億9,190万円

特別会計

会　計　別	予　算　額	収　入　済　額	支　出　済　額
養護老人ホーム	2 億 4,007 万円	1 億 2,490 万円	9,363 万円
特別養護老人ホーム	3 億 5,641 万円	1 億 1,896 万円	1 億 4,798 万円
国民健康保険	5 億 2,063 万円	1 億 6,898 万円	2 億 1,316 万円
介護保険	3 億 4,856 万円	1 億 3,945 万円	1 億 2,457 万円
後期高齢者医療	4,739 万円	1,317 万円	1,324 万円
公共下水道	2 億 577 万円	1 億 72 万円	8,685 万円
合　　計	17 億 1,883 万円	6 億 6,618 万円	6 億 7,943 万円

特別会計と公営企業会計は、税・使用料・負担金・国道支出金のほか一般会計からの繰入金等で運営がなされ、効率的運用に努めています。

公営企業会計

会　計　名	区　　分		予　算　額	執　行　額
水道事業会計	収　益　的	収　　入	2 億 2,587 万円	3,968 万円
		支　　出	2 億 2,587 万円	5,139 万円
	資　本　的	収　　入	324 万円	ー万円
		支　　出	3,706 万円	1,061 万円

わが町の財政を家計にたとえたら…

○税収＋税外収入　19 億 9,674 万円
○地方交付税　21 億 871 万円
公債費（A）　6 億 1,330 万円
○税収等＋地方交付税－（A）　34 億 9,215 万円
○一般歳出　38 億 8,405 万円

町債収入　3 億 9,190 万円
例：沼田小学校改築事業
※毎年必要なお金ではなく、臨時的に必要な多額の事業費の財源とするのが町債である。

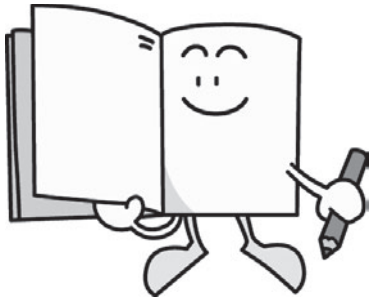
○町債残高予定（H23 年度末）　40 億 6,678 万円
○基金残高予定（H23 年度末）　24 億 6,164 万円

○１世帯年収　199 万 6,740 円
○親からの仕送り　210 万 8,710 円
ローン元利払（B）　61 万 3,300 円
○可処分所得【年収＋仕送り－（B）】　349 万 2,150 円
○家計費　388 万 4,050 円

不足分＝借金　39 万 1,900 円
例：住宅リフォーム
※住宅のリフォーム等の必要な経費の不足分（可処分所得の不足分）を補うのが借金である。

○ローン残高予定　406 万 6,780 円
○貯金残高予定　246 万 1,640 円

わが町の財政を家計にたとえた場合、年収約 200 万円（税収・税外収入）と親からの仕送り約 210 万円（地方交付税）を合算した約 410 万円が年額収入となり、このうち約 61 万円は借金の返済（公債費）に充てなければならなく、実際に可処分所得として使えるのは約 349 万円となります。一方、この家計は、家計費（一般歳出）として年間約 388 万円を必要としており、収入でまかないきれない約 39 万円は、借金（公債金収入）として調達しなければなりません。その結果、平成 23 年度末には、ローン残高（公債残高）は約 407 万円、貯金残高（基金残高）は約 246 万円となっています。



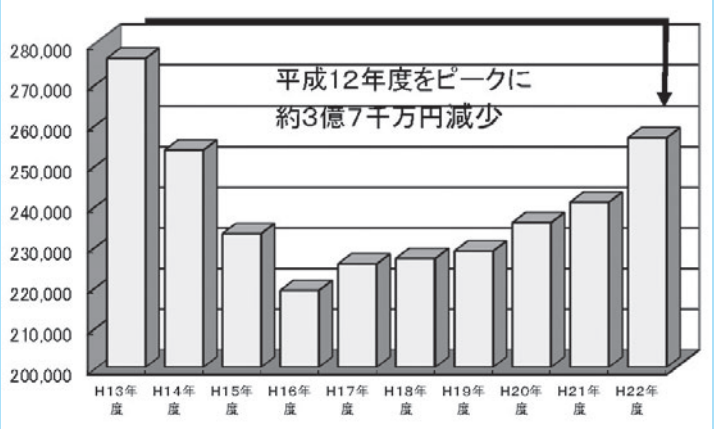
グラフで見る！ 沼田町の財政推移

地方交付税の推移

沼田町の収入の半分以上を占める貴重な財源であり、財政の中で大きな位置を占めている、いわば命綱ともなっているのが「地方交付税」です。

地方交付税は、住民がどの町にいても、一定の行政サービスを提供できるよう、国税５税（所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税）の一定割合の額を、国が地方交付団体に対して交付するもので、普通交付税と特別交付税があります。

地方交付税の使途は、税収と同様、それぞれの地方公共団体が自由に決定することが出来ます。

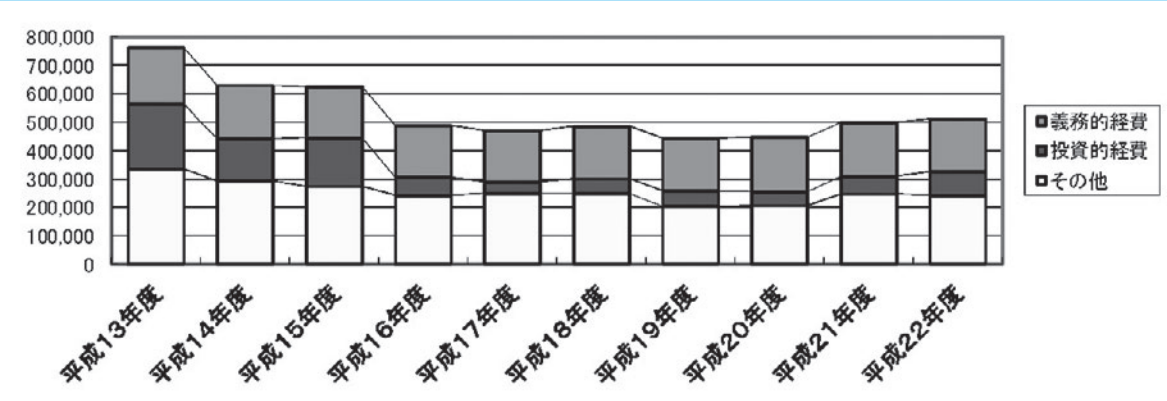


平成 22 年度の地方交付税額（普通交付税、特別交付税）は、25 億 6,506 万円で昨年（24 億 668 万円）より 1 億 5,838 万円増加しました。

しかし、平成 12 年度が地方交付税額のピークの年であり、比較すると約 87％の水準となっております。

性質別経費（歳出）の推移

義務的経費	**法律で支払が義務付けられているもの、収入が減っても簡単に減らせないもの**
	人件費：職員給与や議員、委員の報酬など
	扶助費：生活困窮者、児童、老人、障がい者等支援の経費
	公債費：借入金の返済に要する経費
投資的経費	**道路の基盤整備、公共施設の建設、災害復旧費に当てられるもの**
	公共施設の新増設等の建設や用地取得などの資産形成に資する事業に要する経費
	災害の復旧に要した経費
その他	公共物の維持や補修などのその他経費



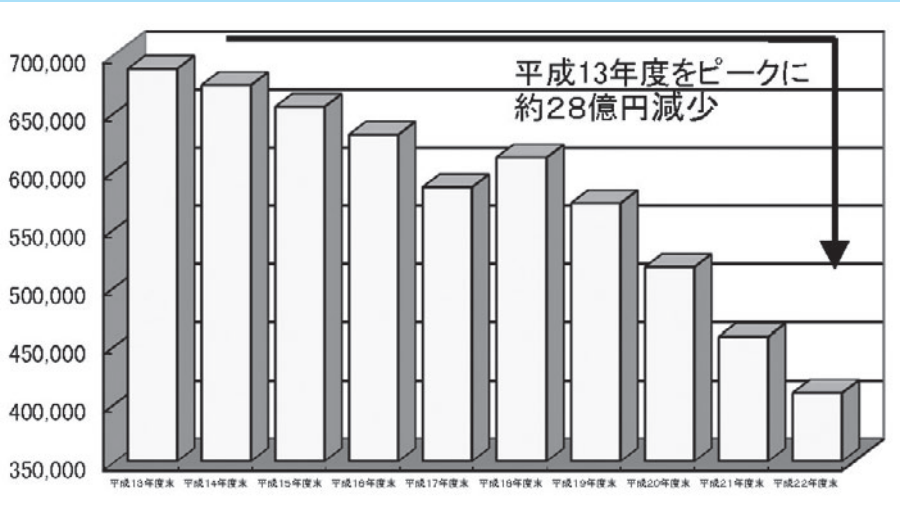
※この表の性質別分類は、決算統計の分類に基づいたものです。

町債（まちの借金）の推移

平成22年度末の町債（借金）残高は、40億8,893万円で昨年（45億6,955万円）より4億8,062万円減少しました。

平成13年と比較すると約28億円減少しています。

なお、平成18年度は、国営土地改良事業（沼田ダム）における公共負担分を償還するための財源として、6億230万円を借り入れたため急増しました。



基金（まちの貯金）の推移

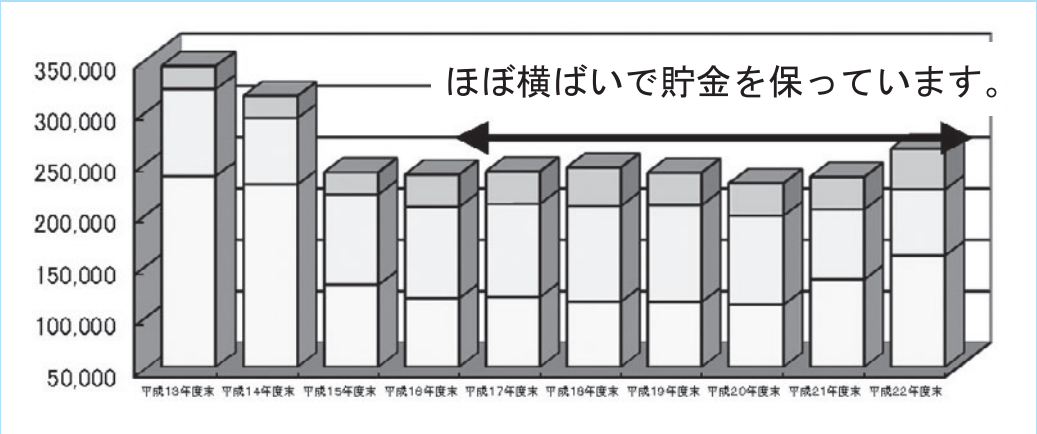
財政調整基金とは？

災害復旧、その他緊急を要し、又は必要やむを得ない財政需要に応ずる財源を積立てるための基金です。

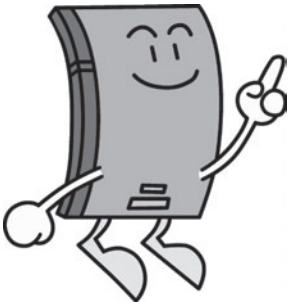
減債基金とは？

町債の償還に必要な財源を確保し、もって将来にわたる町財政の運営に資するための基金です。

	財政調整基金	減債基金	その他特定目的基金	年度末基金現在高
平成13年度末	2億1,442万円	8億4,754万円	23億6,105万円	34億2,301万円
平成14年度末	2億1,452万円	6億4,684万円	22億7,986万円	31億4,122万円
平成15年度末	2億1,466万円	8億8,115万円	13億　95万円	23億9,676万円
平成16年度末	3億1,473万円	8億9,061万円	11億7,034万円	23億7,568万円
平成17年度末	3億1,507万円	9億　694万円	11億8,273万円	24億　474万円
平成18年度末	3億7,515万円	9億3,174万円	11億3,737万円	24億4,426万円
平成19年度末	3億1,559万円	9億4,385万円	11億3,408万円	23億9,352万円
平成20年度末	3億1,598万円	8億6,746万円	11億　723万円	22億9,067万円
平成21年度末	3億1,632万円	6億8,219万円	13億5,413万円	23億5,264万円
平成22年度末	3億9,642万円	6億4,196万円	15億8,794万円	26億2,632万円



※平成15年度に、基金が大きく減っているのは、和風園の建設に伴い基金を取り崩したものです。また、平成22年度は、沼田小学校改築事業に充てる基金を増額しています。



今後も新たな借入を抑制し健全な財政運営に努めます。

【町の財政に関するお問い合わせ】役場財政課（電話35-2113まで）

平成 23 年度
沼田町の職員給与・職員数 公表！

職員の給与や定員を含めた人事行政運営等の状況を沼田町条例により公表致します。

一．総括

（1）人件費の状況（平成 22 年度 普通会計決算）

住民基本台帳人口（平成 22 年度末）	歳出額	実質収支	人件費	人件費率	21 年度の人件費率
3, 627 人	5, 119, 633 千円	76, 803 千円	655, 614 千円	12. 8%	13. 4%

※普通会計…（公共下水道・水道事業・国保・特別養護老人ホーム・介護保険事業を除く）

（2）職員給与費の状況（平成 22 年度 普通会計決算）

職　員　数	給　　料	職員手当	期末・勤勉手当	計	1 人あたりの給与費
78 人	253, 774 千円	47, 909 千円	100, 861 千円	402, 544 千円	5, 161 千円

（3）平成 22 年度 ラスパイレス指数（一般行政職）

96. 8%

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を 100 とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。

二．職員の平均給与月額、初任給などの状況

（1）職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況

（平成 23 年 4 月 1 日現在）

①一般行政職

平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
41. 5 歳	320, 300 円	375, 700 円

（2）職員の初任給の状況（平成 23 年 4 月 1 日現在）

区　　分		初任給	10 年後の給料
一般行政職	大　学　卒	172, 200 円	272, 400 円
	高　校　卒	140, 100 円	223, 780 円

（3）職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（平成 23 年 4 月 1 日現在）

区　　分		経験年数 10 年	経験年数 15 年	経験年数 20 年
一般行政職	大　学　卒	260, 950 円	299, 100 円	342, 366 円
	高　校　卒	207, 800 円	― 円	291, 766 円

三. 職員手当の状況

（1）期末手当・勤勉手当

沼　田　町		国
平成 22 年度の１人あたり平均支給額	1,182 千円	
22 年度支給割合　期末手当　勤勉手当 2.6 月　1.35 月 （加算措置の状況）　職務の級等による加算措置 ・役職加算　5%～ 15%		22 年度支給割合　期末手当　勤勉手当 2.6 月　1.35 月 （加算措置の状況）　職務の級等による加算措置 ・役職・管理職加算 5%～ 15%

（2）退職手当（平成２３年４月１日現在）

沼　田　町			国		
（支給率）	自己都合	勧奨・定年	（支給率）	自己都合	勧奨・定年
勤続 20 年	23.50 月分	30.55 月分	勤続 20 年	23.50 月分	30.55 月分
			勤続 25 年	33.50 月分	41.34 月分
勤続 25 年	33.50 月分	41.34 月分	勤続 35 年	47.50 月分	59.28 月分
勤続 35 年	47.50 月分	59.28 月分	最高限度額	59.28 月分	59.28 月分
最高限度額	59.28 月分	59.28 月分	その他加算措置	定年前早期退職特例措置 （２%～ 20%加算）	
その他加算措置	定年前早期退職特例措置 （２%～ 20%加算）				
１人あたり平均支給額　8,280 千円					

（注）退職手当の１人あたり平均支給額は、平成 22 年度に退職した職員に支給された平均額

（3）特殊勤務手当（平成２３年４月１日現在）

支給実績（平成 22 年度決算）	1,197 千円
支給職員１人あたり平均支給年額（平成 22 年度決算）	36,273 円
職員全体に占める手当支給職員の割合（平成 22 年度）	26.2%
手当の種類（手当数）	1

手当の名称	主な支給対象職員
老人ホーム等業務手当	養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、 グループホームの介護職員、看護師

（4）時間外勤務手当

	平成 22 年度決算	平成 21 年度決算
支給実績	15,120 千円	14,528 千円
支給職員１人あたり平均支給年額	124 千円	141 千円

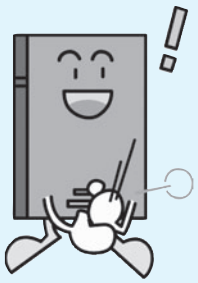
（５）その他の手当（平成２３年４月１日現在）

手当名	内容及び支給単価（月額）	国の制度との異同	支給実績（22年度決算）	支給職員１人あたり平均支給年額（22年度決算）
扶養手当	配偶者 13,000 円 １人（配偶者扶養）6,500 円 ・１人（配偶者なし）11,000 円 特定加算（16 歳～ 22 歳）5,000 円	同	15,656 千円	260,933 円
住居手当	〔借家〕 家賃 23,000 円以下　家賃額－ 12,000 円 家賃 23,000 円を超え 55,000 円未満 （家賃額－ 23,000 円）× 1/2 ＋ 11,000 円 家賃 55,000 円以上　27,000 円	同	16,381 千円	190,476 円
	〔自宅〕11,000 円	異		
通勤手当	片道２km 以上　５km 未満　2,000 円 ５km 以上　10km 未満　4,100 円 10km 以上　15km 未満　6,500 円	同	238 千円	39,667 円
管理職手当	課長　給料月額×８％ 課長補佐　給料月月×７％	異	9,367 千円	374,680 円
寒冷地手当	親族扶養のある職員　26,380 円 その他の世帯主である職員　14,580 円 その他の職員　10,340 円	同	11,972 千円	99,767 円

四．特別職の報酬の状況（平成 23 年 5 月 1 日現在）

区分		給料月額等	期末手当	退職手当
給料	町長	680,000 円 （830,000 円）	（22 年度支給割合） 3.95 月分	（算定方式） 町長）給料月額× 512.6/100 ×在職年数
	副町長	614,600 円 （669,000 円）		（算定方式） 副町長）給料月額× 323.4/100 ×在職年数
報酬	議長	261,000 円	（22 年度支給割合） 3.95 月分	
	副議長	206,000 円		
	議員	172,000 円		

（注）給料の（　）内は、減額措置を行う前の金額です。



五. 職員数の状況

沼田町役場の職員数
122人
（平成２３年４月１日現在）

（１）部門別職員数の状況と主な増減理由（平成２３年４月１日現在）

	職員数		対前年増減数	主な増減理由
	平成 23 年度	平成 22 年度		
一般行政部門	63	64	△１	
福祉部門を除く一般行政職	42	42	0	
福祉関係	21	22	△１	退職者不補充
特別行政部門	15	15	0	
教育	15	15	0	
公営企業等会計部門	44	44	0	
水道	1	1	0	
下水道	1	1	0	
その他	42	42	0	
合　計	122	123	△１	
	[158]	[158]		

（注）　１職員数は一般職に属する職員数です。
２[　　] 内は、条例定数の合計です。
３その他は特別養護老人ホーム、介護保険事業、国保関係

（２）年齢別職員数の状況（平成 24 年４月１日）

区 分	20 歳未満	20 歳～ 23 歳	24 歳～ 27 歳	28 歳～ 31 歳	32 歳～ 35 歳	36 歳～ 39 歳
職員数	0 人	13 人	15 人	17 人	10 人	18 人

区 分	40 歳～ 43 歳	44 歳～ 47 歳	48 歳～ 51 歳	52 歳～ 55 歳	56 歳～ 59 歳	60 歳以上	合計
職員数	12 人	12 人	7 人	6 人	11 人	1 人	122 人

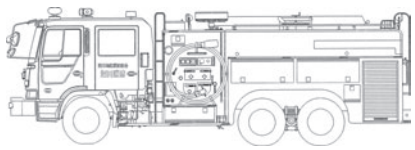
（３）職員数の推移

（単位：人・%）

	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	過去５年間の増減数（率）	
一般行政	72	67	64	63	64	63	△９	（△ 12.50%）
教育	17	17	17	16	15	15	△２	（△ 11.76%）
普通会計計	89	84	81	79	79	78	△11	（△ 12.36%）
公営企業等会計計	46	45	46	45	44	44	△２	（△ 4.35%）
総合計	135	129	127	124	123	122	△13	（△ 9.63%）

（注）各年４月１日現在

【職員の給与に関するお問い合わせ】役場総務課（電話 35-2111 まで）



消報

深川地区消防組合
深川消防署
沼田支署予防担当
TEL 35-2050

平成 23 年度　歳末警戒に伴う飲食店特別査察を実施しました！

平成 13 年 9 月 1 日新宿歌舞伎町の雑居ビル火災により、44 名の尊い命が奪われました。あれから 10 年が経過しましたが、私たちは同じ惨事を二度と繰り返さないようにしなければなりません。また、この時期（冬季間）は火災の多い時期でもあります。

『味処　やま田』さんでの、消火器の設置場所確認の様子です。

『お食事の店　上林』さんでの、避難訓練の様子です。

沼田町においても、12 月 1 日から 12 月 31 日までの歳末警戒強化期間実施にともなって、町内の飲食店（22 店）の立入検査を実施し、火気（コンロやストーブ回りなど）の使用状況、消防用設備等（消火器など）の設置維持状況、避難経路等（裏口などの整理整頓）、灯油タンク（配管などからの漏れ）の点検と、避難訓練をおこないました。

平成 24 年　沼田消防出初式の挙行について

1 月 8 日（日）の午後 1 時 30 分から、役場庁舎前において職団員約 100 名が集まり開催されます。号令によって職団員がきびきびと動く様子や、沼田消防団ラッパ隊の吹奏が見所です。街の中心部を職団員や、消防車両が町内を行進する“分列行進”（午後 2 時頃：カット＆パーマみつや前）もぜひごらんください。

観閲
（役場前）

消防本部
団・分団旗

分列行進
（JA 生産資材駐車場から沼田町民会館まで）

『警報器　あなたの危険　知らせます』

大切な家族や財産を守るため、住宅用火災警報器を設置しましょう。

沼田警察署
あんぜん
広場
TEL 35-3110

NumataPolice

年末における犯罪と事故を防止しましょう！

～ 犯罪や事故のない年末を ～

年末は、空き巣や車上ねらいなど生活に身近な犯罪や振り込め詐欺の発生が予想されます。
安全で安心な年末を送り、希望に満ちた新年を迎えるため、次のことに気をつけて犯罪被害や事故に遭わないようにしましょう。

○外出するときには、必ず戸締まりをしましょう！

短時間の外出も油断大敵です。

○自動車内には物を置かないようにしましょう！

自動車から離れるときには車内に物を置いたままにせず、必ずエンジンキーを抜いてドアロックを　しましょう。

○オレオレ詐欺に注意しましょう！

息子や孫を名乗る「携帯電話の番号が変わった」「溶連菌にかかって声がおかしい。」などの電話はオレオレ詐欺です。振り込む前に家族、知人、警察に相談しましょう。

飲酒運転の根絶のために

～ 一滴が　涙に変わる　その飲酒 ～

◆飲酒運転の根絶！

飲酒して運転すると、気が大きくなりスピードを出し過ぎたり、また、注意力が低下するため信号や歩行者などを見落としやすくなり、罪のない第三者を巻き込む重大事故を引き起こす危険性が高まります。
「ちょっとしか飲んでいないから」「すぐ近くだから」と安易に飲酒運転をすると、一生後悔することになります。

◆二日酔いも「飲酒運転」です！

前夜の酒が抜けず、「二日酔い」で車を運転し事故を起こす例が後を絶ちません。翌日、車の運転予定がある場合は、「前夜、深酒をしない」「朝起きて自覚があるときは、絶対にハンドルを握らない」ようにしましょう。

◆「ハンドルキーパー運動」にご協力ください！

ハンドルキーパーとは、自動車で仲間と飲食店などへ行く場合に、お酒を飲まない人（ハンドルキーパー）を決め、その人が仲間を自宅まで送り届ける運動です。
飲酒運転根絶のため、ご協力お願いします。

現在、教育委員会では総合教育計画の策定を行っておりますが、その中で一貫教育についての検討を進めています。検討委員会では 11 月 10 日・11 日に先進地視察を行いました。

【江差町】

第一の視察先、江差町では３つの小学校が１つに、３つの中学校が１つになり、その小中学校が１つの屋根でつながっているという利点を活かすため、一貫教育の導入を始めました。

いわゆる中１ギャップといわれる小学校と中学校の間の大きな壁を取り払い、義務教育９年間を通した児童生徒を育成することに主題をおき、検討協議が行われ、学校においても、全教職員が参加し小中連携会議を立ち上げ、道内外への視察を実施するなど真剣な取り組みがあり、一貫教育がスタートしました。

小中ジョイント授業を行う江差町

まだスタートしたばかりで、その効果ははっきりと目に見えないものでありましたが、できるところからゆっくり急いで進めていくとのことでした。

夢と希望をもった「１５歳の春」の健やかな成長のために…

【豊浦町】

第二の視察先は、豊浦町幼小中一貫教育研究大会での公開授業です。豊浦町では、幼小中１２年間の系統性を重視した教育活動を行い、地域の子どもを地域全体で育てるため、学校間での情報交換・交流・連携を行い着実にステップアップしてきました。

中学校教員と小学校教員が相互に乗り入れる乗り入れ授業や、幼小・小中のジョイント教室が行われ、生き生きとした子どもたちの表情をみることができました。

司書のイチオシ!『年中行事なるほどBOOK』

新しい年が始まり、みなさんいかがお過ごしですか。

新しい年が始まると清々しい気持ちになりますね。今回は、１月中に確認しておきたい年中行事の本を紹介します。

年中行事とは毎年特定の時期に行われる行事の総称のことです。行事といえば、何を思い浮かべるでしょうか。バレンタインやこどもの日・七夕など、皆さんが思い浮かべるものは殆ど年中行事の中に入っているはずです。

今回紹介する本は、そんな年中行事をわかりやすく解説しています。

例えば、１月１日の元日についてだと『元旦とは１月１日の朝のことです。１日の祝日は元日と言い、元旦ではありません。「元」は初めという意味で、「旦」は朝という意味です…』という形で書かれています。豆知識や、その季節にあった遊びなども紹介されているので、家庭はもちろん幼稚園や保育園でも使える便利な１冊です。

今回紹介した本は詳しい年中行事は載っていませんが、行事についてもっと詳しく書かれた本は図書館にありますので、そちらをお求めのときは気軽に声をかけてください。

図書館に来館された時は、年中行事の本をぜひ手に取ってみてください。

新刊図書

≪一般書≫
「家畜の海外悪性伝染病 新版」作者：小澤　義博
「水彩画　色の覚え書き」　作者：青木　美和
「ラデュレのお菓子レシピ」
作者：フィリップ・アンドリュー
「最新バイオ用語辞典」　作者：廣川　秀夫
「Ｄｏｇオリジナル・スタイル・カタログ」
ハッピー・トリマー編集部
「綾子とあかい糸」　作者：さとうひさえ
「南極がこわれる」　作者：藤原　幸一
「ペンギンの歩く街」　作者：藤原　幸一
「ＴＰＰと日本の国益」　作者：鈴木　宣宏
「攻めの保護農政」　作者：村田　泰夫
≪児童書≫
「せかいのどうぶつ―とびだす！実物大☆ずかん―」
日経ナショナルジオグラフィック
「血液型心理ゲーム」　作者：さくら　美月
「ネコナ・デール船長」　作者：おくはら　ゆめ
「藍染の絵本」　作者：やまざきかずき
「やきものの絵本」　作者：よしだ　あきら
「ONE PIECE〔1〕〔2〕」　作者：浜崎　達也

新刊図書これがおすすめ!!

『境遇』　湊　かなえ

デビュー作の絵本がベストセラーになった陽子と、新聞記者の晴美は親友同士。ある日「真実を公表しなければ､息子の命はない」という脅迫状とともに、陽子の息子が誘拐され…。物語の鍵となる絵本付特別版。

『ガラパゴスがこわれる』　藤原　幸一

地球温暖化が、ガラパゴスの生きものたちのリズムを乱す。人間がいなくなれば、環境はよくなるのだろうか？ ガラパゴスを第２の故郷とする写真家・藤原幸一が問う、環境問題解決のための心からのメッセージ。

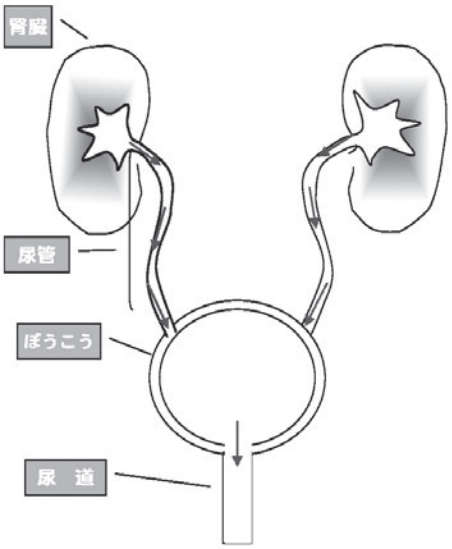
『君に届け』　白井　かなこ

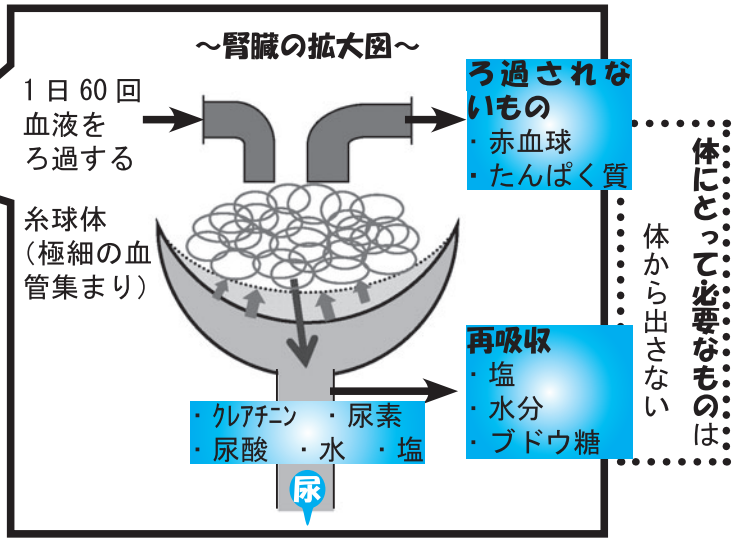
“貞子”というあだ名で呼ばれる爽子は、クラスでも浮いた存在。だが､クラスの人気者、風早くんはそんな爽子にもわけへだてなく接してくれる。そのうちに、爽子の生活にも変化が起きはじめて…。同名コミックのノベライズ。

腎臓は血液のクリーニング屋！

1. 腎臓のお話

腎臓は、背中側に**2個**ある臓器です。とても細かい血管がグルグルしている臓器で、血液をきれいに「**ろ過**」し**尿**をつくる臓器です。私たちは、色んな物を食べたり飲んだりすると体内で分解され老廃物として、①二酸化炭素として息から吐き出したり、②食べたものの残骸である便、そして③**尿**として排出されます。





★体に必要なものを残し、いらないものを捨てます★
（ろ過のために血液の壁は特殊な構造しています）

2. 腎臓の病気

腎臓は、細かい血管がグルグルしているところなので、**血管が傷まないよう**にしないといけません。血管を傷まないようにするには　どうしたらいいでしょうか？

食べ過ぎで**糖分や脂肪を取り過ぎ**ると、血管を傷めたり、**血圧も高い**と無理がかかります。血圧を上げるものといえば、「塩」です。余分な塩分も腎臓から捨てます。だから、塩のとりすぎも腎臓を傷める要因になってしまいます。

そこで、この腎臓の力をみているのが「**血液検査（ＧＦＲ：糸球体ろ過量）**」と「**尿検査**」です。例えば、たんぱく質は身体に必要なものだから本来腎臓から尿に出したりしませんが、腎臓の血管が傷んでいると尿にたんぱく質が出ることがあります。

★体に必要なものなのに、体の外に出てしまうということは・・・★
（腎臓の血管が傷み、血管そのものが変化している可能性があります）
↓
腎臓が働かなくなったら・・・
↓
「**慢性腎臓病（CKD）**」になり「**透析**」が必要になります。
週２・３日病院に通い一回４時間かけて血をきれいにします。実施中や実施後は具合が悪くなることもあります。さらに、毎月の医療費も高額にかかったりと、生活に変化をきたします。

だから、
健診です！

3. 2つの腎臓を守るために

①早寝早起き・十分な睡眠・休養をとる

②必要な薬以外は飲まない・使わない
腎臓から排泄される薬剤
→尿細管を傷める毒をもつ

③ストレスをためない
ストレスがかかると交感神経が刺激され全身の血圧が上がる　**→糸球体が傷つく**

④風邪など感染症にかからない（体を清潔に！）
・風邪（細菌・ｳｨﾙｽ感染）
→糸球体で細菌・ｳｨﾙｽの免疫反応**→糸球体が傷つく**
（急性糸球体腎炎など）
・慢性腎不全　→免疫低下
→予防接種（ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ・肺炎球菌ﾜｸﾁﾝ）を受けましょう

⑤水分補給で脱水を予防する
・脱水で全身血流量が減り腎臓に血液が流れず血圧上昇
→糸球体が傷つく（ｻｳﾅ・発熱時の発汗・過度のｱﾙｺｰﾙ摂取時も同じ）
・筋肉運動で筋肉細胞が壊れ、血液中のｸﾚｱﾁﾆﾝが増える　**→糸球体が傷つく**

⑥排尿をがまんしない
排尿を我慢すると、膀胱に尿が沢山溜まる
→腎臓に尿が逆流する
→糸球体が圧迫され傷つく
・膀胱に細菌が溜まる
→尿中の細菌が糸球体に逆流する
→糸球体で炎症を起す

⑦健診を受けましょう
・３歳児健診の尿検査
・小学校や中学校での尿検査
・妊婦健康診査
・特定健診
・職場健診

あんしんバトン

～65歳以上のみなさん。設置はもうお済ですか？～

沼田町では、65 歳以上の町民へ安全で安心な暮らしを守るため、救急医療情報キット「あんしんバトン」を無料で配布しています。

あんしんバトンは、救急時など「何かあった時」に自分の情報（かかりつけ医・服薬状況など）をいち早く消防隊員・医師などに知ってもらうため、氏名やかかりつけの医療機関を記載した「あんしんカード」や薬などを処方された時にもらう説明書、健康保険証のコピーと必要な情報を保管するボトルです。

冷蔵庫に大切に保管し、万が一のときに備えてください！

「あんしんバトン」に入れるものは！？

①あんしんカード

②健康保険証のコピー

③薬の説明書

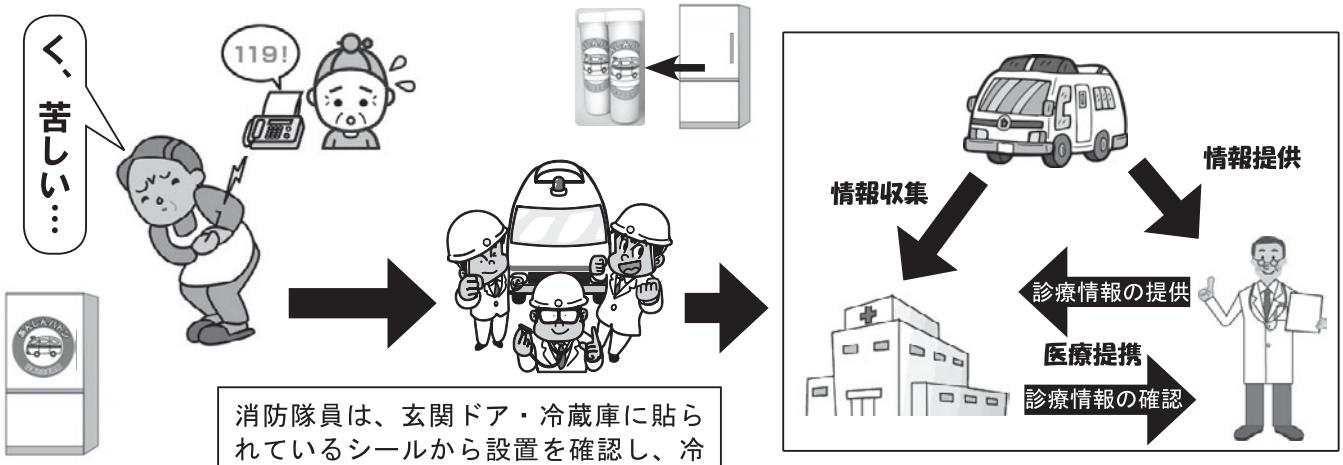
「あんしんバトン」に
①あんしんカード
②健康保険証のコピー
③薬の説明書
を入れて冷蔵庫に入れておくんだネ！！

「あんしんバトン」の利用方法！！

① 救急事態発生！！ 消防署に連絡（119番通報）

② 消防隊員到着！！

③ 搬送・情報提供！！



消防隊員は、玄関ドア・冷蔵庫に貼られているシールから設置を確認し、冷蔵庫内のバトンから情報を取得します。

体の健康、あんしんバトンなどのお問い合わせは…

役場保健福祉課【電話35－2120】までお問い合わせください。

後期高齢者医療制度

1. 高額介護合算療養費
2. 医療費通知
3. 特別ご優待券

医療と介護の両方を利用している世帯には、負担軽減があります

医療と介護の両方を利用している世帯の自己負担を軽減するために高額介護合算療養費制度があります。

この制度は、同じ世帯の被保険者が、**「病院にかかったとき」と「介護サービスを利用したとき」の１年分の自己負担額の合計が表の基準額（限度額）を超えた場合**は、超えた額が支給されるものです。

なお、対象と考えられる世帯へは広域連合から申請書が送付されますので、印鑑、通帳を持参し住民生活課総合窓口グループで申請をして下さい。

○後期高齢者医療制度または介護保険の自己負担額のいずれかが０円の場合は対象となりません。

○支給額が５００円未満の場合は支給されません。

○例：夫が介護のみで、妻が医療のみの世帯で算定基準を超えた場合も対象となります。

◆自己負担限度額表 【１年分の自己負担額の計算期間：８月１日～翌年７月３１日】

負担割合	区分		自己負担額の合計の基準額
３割	現役並み所得者		６７万円
１割	一般		５６万円
	住民税非課税世帯	区分Ⅱ（※1）	３１万円
		区分Ⅰ（※2）	１９万円

※１　世帯全員が住民税非課税である方

※２　世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が０円（公的年金収入のみの場合、その受給額が８０万円以下）、または老齢福祉年金を受給している方

●「現役並み所得者」の方は後期高齢者医療被保険者証に「3 割」と記載されている方です。

○申請される方は、住民生活課総合窓口グループまでお申し出ください。

【申請に必要なもの】

①広域連合から送付される申請書、②印鑑（シャチハタ以外）、③通帳

『医療費通知』の送付を希望される方へ

北海道後期高齢者医療広域連合では、被保険者の皆様に健康や医療に対する理解を深めていただくために、皆様の医療費を半年ごとにまとめ、発行をご希望の方を対象に医療費通知を送付しています。

次回の発行は、３月（平成 23 年７～ 12 月の医療費を対象）に行います。

◆新たに発行をご希望の方はご連絡ください！

新たに発行をご希望の方は、お手数ですが、北海道後期高齢者医療広域連合または沼田町役場住民生活課総合窓口グループへご連絡ください。（電話でのご連絡だけで手続きできます）。

○　すでに「発行希望」のご連絡をいただいている方につきましては、継続して発行しますので、再度のご連絡は必要ありません。

○　この通知は希望により送付するものですので、これにより何らかの申請等の手続きをしていただく様なことはありません。

※　この通知を確定申告などの「医療費控除」の領収書の代わりとすることはできません。

『特別ご優待券』の有効期限が迫っています

平成２３年６月末に後期高齢者医療保険の被保険者皆様へお配りした、特別ご優待〈入浴利用券〉と町営バス乗車券の**有効期限は平成２４年１月３１日まで**となっておりますので、お知らせいたします。

有効期限後は使用できませんので、お早めにご利用ください。

なお、今年４月末に配布されたオレンジ色の町民優待券とはご利用期間が異なるため、お間違えのないようご注意してください。

※今回有効期限切れとなる券は青色の特別ご優待券と、黄色の町営バス乗車券です。

平成24年1月31日で利用期間が終わる券

健康と癒しの空間
ほろしん温泉
ほたる館

ほたる館イラスト

００××△△

後期高齢者医療被保険者用

特別ご優待券

<入 浴 利 用 券>

- ご入館の際本券をフロントにお渡し下さい。本券１枚で１名様のみ無料でご利用になれます。
- 本券はレストランでは使用できません。
- 本券は後期高齢者医療被保険者本人以外は使用できません。
- 有効期間／平成23年7月1日～平成24年1月31日

「青色の券」

2011.07.01

町営バス乗車券

後期高齢者医療被保険者用

□対象者
沼田町に在住する，後期高齢者医療制度被保険者の皆様
□利用期間
平成23年7月1日～平成24年1月31日
□乗車の際、この券を料金箱にお入れ下さい。
※後期高齢者医療ほろしん温泉優待事業で、ほろしん温泉へ行く場合のみ使用できます。

「黄色の券」

お早めにご使用ください！

上記の券のように後期高齢者医療被保険者用と記載されている券が、平成２４年１月３１日までの有効期限となっています。

後期高齢者医療制度に係る問い合せ先　住民生活課総合窓口グループ
【電話０１６４－３５－２１１５（担当：福井・小西・大原）】

広報ぬまた 第五五五号
二〇一一年十二月二十七日発行 発行者 北海道雨竜郡沼田町長 金平嘉則
◆まちのどんな情報でも構いませんので、ぜひお聞かせください。編集 総務課広報情報グループ 亀谷・小川 電話〇一六四―三五―二一一一

今月のレシピ

カルピスゼリー

ビストロ Bistro No.41

・・・必要な材料・・・

プリンカップ６個分

卵黄……１個分
生クリーム …100cc
ゼラチン ……１０g
水……１００cc
熱湯……２５０cc
カルピス…１７５cc
(オレンジ味)

栄養価（１人分）

エネルギー	１４４kcal
タンパク質	３．４g
脂質	７．４g
カルシウム	２６mg
鉄分	０．２mg
塩分	０．１mg

★ ポイント ★

- ゼラチンはしっかり煮溶けるのを確認して下さい。
- カルピスにも様々な味がありますが、オレンジが美味しくできます。

【作り方】

①ゼラチンを分量の水に入れてふやかしておく。
②卵黄と生クリームを混ぜ合わせておく。
③熱湯の中に①とカルピスを入れて混ぜる。ここに②を加えて混ぜ、型に入れて冷し固める

今月号の赤ちゃんです。 すくすく育ってね！

齋藤 莉奈（りな）ちゃん（次女）
11月1日生まれ
お父さん 実
お母さん 由美子
（旭町西）

鵜野 遥成（はるせ）くん（次男）
10月24日生まれ
お父さん 翔太
お母さん 望
（緑ヶ丘）

おくやみ

氏名	月日	年齢	住所
土田 健二さん	11月11日	75歳	東 予
吉川 チイさん	11月16日	76歳	北竜2
守屋アサヱさん	11月21日	94歳	旭町東
宮脇 正造さん	11月25日	84歳	市内5
石丸 正夫さん	12月 4日	85歳	更 新
廣野 伸一さん	12月15日	72歳	市内3

人の動き

人口 3,604人（前月比△2人）
（男性1,687人 女性1,917人）
65歳以上 1,296人（高齢化率36.0%）
世帯数 1,626戸（前月比 ＋2戸）
〇総人口増減内訳
増加…転入：4人 出生：2人
減少…転出：4人 死亡：4人
（平成23年12月1日現在）

交通事故死ゼロ

4539日

継続中！

（平成23年12月1日現在）

この広報誌は再生紙と大豆インクを利用しています。